



## Red Hat Insights 1-latest

# Red Hat Insights Task を使用したシステムの問題の 評価および修復

事前定義された Insights Task Playbook を使用してシステムの問題を解決する



# Red Hat Insights 1-latest Red Hat Insights Task を使用したシステムの問題の評価および修復

---

事前定義された Insights Task Playbook を使用してシステムの問題を解決する

## 法律上の通知

Copyright © 2024 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux<sup>®</sup> is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java<sup>®</sup> is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS<sup>®</sup> is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL<sup>®</sup> is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js<sup>®</sup> is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack<sup>®</sup> Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

## 概要

Red Hat Insights Taskは、Task と呼ばれる事前定義された Playbook を使用してシステムの問題を評価し、修復するのに役立ちます。Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、今後の複数のリリースで段階的に用語の置き換えを実施して参ります。詳細は、Red Hat CTO である Chris Wright のメッセージ をご覧ください。

---

## 目次

第1章 RED HAT INSIGHTS TASK の概要 .....	3
1.1. USER ACCESS に関する考慮事項 .....	3
第2章 TASK の実行に向けた RED HAT INSIGHTS へのシステムの登録および接続 .....	5
第3章 RED HAT INSIGHTS を使用した TASK の実行 .....	6
第4章 CENTOS LINUX 7 から RHEL 7 への変換に役立つ INSIGHTS TASK の使用 .....	9
RED HAT ドキュメントへのフィードバック (英語のみ) .....	10



## 第1章 RED HAT INSIGHTS TASK の概要

Red Hat Insights Task は、Red Hat Enterprise Linux の Automation Toolkit の一部です。Insights Task は、事前定義された Playbook を提供します。この Playbook は、自動化された Task により複雑な問題を簡素化して解決することで、インフラストラクチャーの健全性を維持するのに役立ちます。Task は特定の問題を解決します。通常はシステムで1回実行され、システムの注目度の高い脆弱性の検出や、システムのメジャーアップグレードの準備などを実行します。Task は、[Red Hat Hybrid Cloud Console > Red Hat Insights > RHEL > Automation Toolkit > Tasks](#) にあります。

Red Hat Insights は、インフラストラクチャーで問題を解決して作業を行う必要があることを予測し、特定の Task を Automation Toolkit に継続的に追加します。Task には次のものが含まれます。

- RHEL アップグレード前分析ユーティリティーの Task
- 変換前分析ユーティリティーの Task
- CentOS Linux 7 から RHEL への変換

Task の実行を開始するにあたって必要となる重要な情報は次のとおりです。

- **User Access に関する考慮事項。** Task を完了するために必要なユーザーアクセスのロールまたはレベルを確認します。
- **Insights へのホストの登録および接続。** 通常、Task を使用するには、システムを Insights に登録して接続する必要があります。
- **Red Hat Insights を使用した Task の実行。** Task を見つけて実行する方法を理解します。



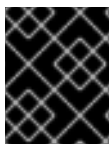
### 注記

Task を実行するためのシステム要件は Task により異なる場合があります。

## 1.1. USER ACCESS に関する考慮事項

アカウントの組織管理者は、User Access で設定を行い、Red Hat Insights for Red Hat Enterprise Linux 機能へのアクセスを制御します。アカウントのどのユーザーも、Insights for Red Hat Enterprise Linux のほとんどのデータにアクセスできます。ただし、一部のアクションを実行するには、ユーザーのアクセス権の昇格が必要です。

アクセスの付与は、[Red Hat Hybrid Cloud Console](#) の User Access で行います。アクセスを付与または変更するには、組織管理者または User Access 管理者は、[Red Hat Hybrid Cloud Console > Settings アイコン \(⚙️\) > Identity & Access Management > User Access > Users](#) で必要なロールを持つ User Access グループにユーザーを追加する必要があります。



### 重要

このドキュメントでは、手順の前提条件で、その手順を実行するためにアクセス権の昇格が必要かどうかを示しています。

User Access を理解するうえで重要な事前定義済みグループおよびロールは次のとおりです。

- デフォルトのアクセスグループ
- Default admin access グループ

- **組織管理者ロール**

## 一部の事前定義済みグループおよびロールの概要

アクセスには、以下の事前定義済みのグループおよびロールが関連します。

- **デフォルトのアクセスグループ:** アカウント上のすべてのユーザーが、デフォルトアクセスグループのメンバーです。デフォルトのアクセスグループのメンバーには読み取り専用アクセス権があります。これにより、Insights for Red Hat Enterprise Linux のほとんどの情報を表示できます。
- **デフォルトの管理者アクセスグループ:** アカウント上の組織管理者であるすべてのユーザーは、このグループのメンバーです。ユーザーは、Red Hat が管理するデフォルト管理者アクセスグループのロールを変更できません。デフォルト管理者アクセスグループのメンバーには読み取り/書き込みアクセス権があります。これにより、Insights for Red Hat Enterprise Linux で他のアクションを表示および実行できます。
- **組織管理者ロール:** アカウント上の組織管理者であるすべてのユーザーは、User Access グループを作成および変更し、他のアカウントユーザーにアクセス権利を付与できます。組織管理者であるかどうかを確認するには、画面の右上にある Red Hat Hybrid Cloud Console ヘッダーで自分の名前をクリックして、“Org.Administrator” がユーザー名の下に表示されるかどうかを確認します。

### 重要

アクセス権の昇格のリクエスト 必要な機能にアクセスできない場合は、以下を実行できます。

- [カスタマーサービス](#) に連絡して、アカウントの組織管理者の詳細を取得します。
  - リクエストを送信する際に、アカウント番号を提供してください。
- 組織管理者に連絡し、次の情報を提供してアクセス権の付与を依頼します。
  - アクセスする必要があるロールの名前 (Remediations 管理者など)。
  - [User Access に関するすべてのドキュメント](#) へのリンク。アクセス権を付与する方法について組織管理者に知らせるのに役立ちます。

### 1.1.1. Insights Task ユーザーの User Access ロール

次のロールにより、Insights for Red Hat Enterprise Linux の修復機能への拡張アクセスが有効になります。

- **Task 管理者。** Task 管理者ロールでは、Insights に接続されたシステムで Task をリモートで実行するための全 Task 機能へのアクセスが許可されます。

### 注記

Default Admin Access グループに属するすべてのメンバーも Task を実行できます。

Task ビューアーのロールは存在しません。



## 第2章 TASK の実行に向けた RED HAT INSIGHTS へのシステムの登録および接続

Red Hat Insights を使用するには、システムを Insights に登録し、Insights とのシステム通信を有効にする必要があります。Insights との通信に加えて、Satellite 6.11 以降、リモートホスト設定 (rhc)、**rhc-worker-playbook**、および **ansible** の依存関係の有効化およびインストールを行い、Task サービスや Automation Toolkit のその他のサービスを使用できるようにする必要があります。

Insights とのシステム通信の有効化および依存関係の対処に関する詳細は、以下を参照してください。

- [Red Hat Insights 修復ガイド](#) の [Insights とのホスト通信の有効化](#)

### 関連情報

- [Red Hat Insights のデータとアプリケーションのセキュリティー](#)

## 第3章 RED HAT INSIGHTS を使用した TASK の実行

Red Hat Hybrid Cloud Console のリモートシステムの Task を Red Hat Insights Task から直接実行できません。

実行できる Task は次のとおりです。

- RHEL アップグレード前分析ユーティリティーの Task
- 変換前分析ユーティリティーの Task
- CentOS Linux 7 から RHEL への変換



### 注記

特定の Insights Task の実行に必要な前提条件とアクションは異なります。

Task を実行するための一般的な手順は次のとおりです。

### 前提条件

- Red Hat Hybrid Cloud Console にログインしている。
- Task 管理者ロールを持つ User Access グループのメンバーである。
- システムを接続し、必要に応じてリモートホスト設定 (rhc)、**rhc-worker-playbook**、および **ansible-core** の依存関係に対処済みである。[Red Hat Insights 修復ガイドの Insights とのホスト通信の有効化](#) を参照してください。
- Satellite 6.11 以降の依存関係に対処済みである。[Red Hat Insights 修復ガイドの Insights とのホスト通信の有効化](#) を参照してください。  
Insights Automation Toolkit のサービスにも同様の依存関係要件があり、Red Hat Insights のユーザーが修復や Task の Playbook を実行できるようにするには、これらの要件を満たす必要があります。

### 手順

1. [Automation Toolkit > Tasks](#) に移動します。
2. 実行する Task を選択し、**Run Task** をクリックします。
3. オプション: デフォルトの Task 名を編集して、必要に応じてカスタマイズします。



### 注記

Task の実行後に Task 名を再度変更することはできません。

4. Task の簡単な説明に示される Task 固有の前提条件をメモします。
5. Task を実行するシステムを選択します。フィルターを使用すると、以下の要素でシステムを検索およびフィルタリングできます。
  - 名前
  - オペレーティングシステム

## ● タグ

**RHEL pre-upgrade analysis utility**

**Task description**  
For connected systems running versions of RHEL 7 or RHEL 8, the RHEL pre-upgrade analysis will predict repository conflicts and application compatibility with future versions before you upgrade. Run this task to understand the impact of an upgrade on your fleet and make a remediation plan before your maintenance window begins.  
[Download preview of playbook](#)

**Task name**  
RHEL pre-upgrade analysis utility

**Systems to run tasks on**  
Eligible systems include systems connected to console.redhat.com with rhc, or Satellite with Cloud Connector.

Filter by name

Name	Tags	OS	Last seen
iqe-vm-lib-f3ca03d8-calc-4cf6-ad5f-daa9b74875d7	0	RHEL 8.7	Just now
iqe-vm-lib-d7dfcff-2604-4fd5-bfc5-53c3d07970a4	0	RHEL 8.7	2 minutes ago
iqe-vm-lib-ed9a5d99-54a2-4599-8b42-fad89fd8f24b	0	RHEL 8.7	3 minutes ago
iqe-jenkins-tasks-outage-prod	0	RHEL 8.7	18 minutes ago
iqe-prod-test-device-87-2	0	RHEL 8.7	18 minutes ago
test-image-rehana	0	RHEL 9.2	18 minutes ago
iqe-vm-lib-c9738e71-la78-4f4e-896f-37661e75efbf	0	RHEL 8.7	37 minutes ago
ci-vm-10-0-96-150.hosted.upshift.rdu2.redhat.com	0	RHEL 8.8	53 minutes ago

Execute task Cancel

6. **Execute task** をクリックします。選択したシステムで Task が実行されます。Task が実行中であることを示すポップアップが表示される場合があります。

**Task running**

Your task "RHEL pre-upgrade analysis utility" is running on 1 system.

[View progress](#)

7. **View Progress** をクリックすると Task の詳細ページが表示され、選択した各システムで Task がどのように実行されているかが表示されます。

Red Hat Hybrid Cloud Console

Services Search for services Preview off

Red Hat Insights > Automation Toolkit > Tasks

**RHEL pre-upgrade analysis utility**

RHEL pre-upgrade analysis utility

For connected systems running versions of RHEL 7 or RHEL 8, the RHEL pre-upgrade analysis will predict repository conflicts and application compatibility with future versions before you upgrade. Run this task to understand the impact of an upgrade on your fleet and make a remediation plan before your maintenance window begins.

Systems	Run start	Run end	Initiated by	Systems with alerts
1	22 Jan 2024, 20:23 UTC	22 Jan 2024, 20:23 UTC (0 min)	insights-qa	1

Filter by name

System name	Status	Message
iqe-jenkins-tasks-outage-prod	Failure	<b>Alert</b> Task failed to complete for an unknown reason. Retry this task at a later time.

Run task again

8. **Status** と **Message** の詳細を確認します。

9. システム名の横に **Show more** アイコンが表示されている場合、アイコンをクリックするとメッセージに関する詳細情報が表示されます。

10. **Tasks** をクリックして Task 詳細ビューに移動すると、選択したシステムで Task がどのように実行されたかに関する詳細情報が表示されます。
11. **Activity tab** をクリックすると、実行したすべての Task のステータスが表示されます。Task は最新の日時に基づいて時系列で表示されます。



## 注記

**Completed** ステータスは、Task が実行されたことを示しますが、Task が目的を達成したことを示すものではありません。

Task	Systems	Status	Run date/time
RHEL pre-upgrade analysis utility	1	Completed	22 Jan 2024, 20:23 UTC
RHEL pre-upgrade analysis utility	1	Completed	22 Jan 2024, 18:29 UTC
Pre-conversion analysis for converting to RHEL	1	Completed	22 Jan 2024, 17:06 UTC

12. オプション: 実行した Task をクリックすると、Task 詳細ビューに戻り、選択したシステムで Task がどのように実行されたかに関する詳細情報が表示されます。

## 次のステップ

エラーを解決することが必要な場合があります。エラーには、Task を正常に実行するために、ソフトウェアパッケージをシステムにインストールする必要がある場合に発生するものなどがあります。これらのエラーを解決したら、同じシステムで Task を再度実行できます。

オプション: Task を再度実行するには、**Run Task again** をクリックします。以前に選択したシステムは引き続き選択されますが、必要に応じてシステムを追加することもできます。

## 第4章 CENTOS LINUX 7 から RHEL 7 への変換に役立つ INSIGHTS TASK の使用

Red Hat Insights を使用すると、CentOS Linux 7 から RHEL 7 への変換に役立ちます。

システムの変換に役立つ Insights Task の使用に関する詳細は、[RPM ベースの Linux ディストリビューションから RHEL への変換ドキュメント](#)の [Insights を使用した変換](#) を参照してください。

### 関連情報

- [ビデオ: Pre-conversion analysis for converting to Red Hat Enterprise Linux](#)
- [ビデオ: Convert to Red Hat Enterprise Linux from CentOS7 Linux using Red Hat Insights](#)

### 変換関連の Insights Task のトラブルシューティング

Task は、Insights を使用する Red Hat Enterprise Linux インフラストラクチャーを更新、管理、または保護するのに役立ちます。各 Task は、Task を最初から最後まで実行する事前定義された Playbook です。変換関連の Insights Task の完了に問題がある場合は、以下を参照してください。

- [Red Hat Insights を使用した変換に関する問題のトラブルシューティング](#)

## RED HAT ドキュメントへのフィードバック (英語のみ)

Red Hat ドキュメントに関するフィードバックをお寄せください。いただいたご要望に迅速に対応できるよう、できるだけ詳細にご記入ください。

### 前提条件

- Red Hat カスタマーポータルにログインしている。

### 手順

フィードバックを送信するには、以下の手順を実施します。

1. [Create Issue](#) にアクセスします。
2. **Summary** テキストボックスに、問題または機能拡張に関する説明を入力します。
3. **Description** テキストボックスに、問題または機能拡張のご要望に関する詳細を入力します。
4. **Reporter** テキストボックスに、お客様のお名前を入力します。
5. **Create** ボタンをクリックします。

これによりドキュメントに関するチケットが作成され、適切なドキュメントチームに転送されます。フィードバックの提供にご協力いただきありがとうございました。